

調査・検討の進め方について

1. 評価対象

『ゲノムネットワーク研究』

【文部科学省】

概算要求額：80億円

全体計画：400億円

ヒトゲノムの塩基配列が解読され、今後のゲノム研究が機能解明を中心とした本格的国際競争の段階に入ることにかんがみ、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、新たに開始が予定されているゲノムネットワーク研究の評価を行う。

評価においては、ゲノムネットワーク研究の戦略的推進について、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

2. 調査・検討項目

評価検討会においては、以下の項目について調査・検討する。

A. 科学技術上の意義

当該研究開発の科学技術上の目的・意義・効果。

B. 社会・経済上の意義

当該研究開発の社会・経済上の目的・意義・効果。

C. 国際関係上の意義

国際社会における貢献・役割分担、外交政策との整合性、及び国益上の意義・効果。

D. 計画の妥当性

目標・期間・資金・体制・人材や安全・環境・文化・倫理面などからの妥当性。

E. 成果、運営、達成度等

投入資源に対する成果、運営の効率性、及び目標の達成度等。評価結果の反映状況の確認等。

ただし、E については、新規研究開発であることから、その内容を考慮。

3. 検討スケジュール

- | | |
|--------------------|---|
| 9月11日(木) | 評価専門調査会
評価対象、担当議員・委員、進め方を確認 |
| 9月16日(火) | 第1回評価検討会
・ヒアリング、追加質問と論点候補の抽出
追加質問を回収し府省へ対応を発注 |
| 10月1日(木)
～8日(水) | 第2回評価検討会
・追加ヒアリング、論点整理
評価コメントを回収し中間報告原案を作成 |
| 10月15日(水) | 評価専門調査会
・中間報告(案)の検討 |
| 10月～11月 | 総合科学技術会議
・中間報告に基づく審議 |
| | } 必要に応じ第3回評価検討会 |
| 11月～12月 | 評価専門調査会
・評価報告書(案)の検討 |
| 12月 | 総合科学技術会議
・評価報告書(案)に基づく審議・結論 |